

お手渡し魚等の記念放流④ 最上川第一漁業協同組合サクラマス放流（月布川）

📌 お手渡し魚等の記念放流について

大会の式典行事において、天皇皇后両陛下から県内の水産関係者へお手渡しされた稚魚等（ヒラメ、アワビ、サクラマス、イワナ）の放流を行うものです。

📌 最上川第一漁業協同組合 サクラマス放流

平成28年10月20日（木）に、月布川（大江町沢口巻淵）において、「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～」の式典行事で、天皇陛下から最上川第一漁業協同組合の伏貫照夫さんにお手渡しされたサクラマスの稚魚を含む約1千尾のサクラマスの稚魚を放流しました。この行事には、同組合員7名、大江町立本郷東小学校2年生18名、渡邊大江町長らが参加しました。

放流に先立ち、伏貫照夫さんが、「県の魚「サクラマス」が遡上する月布川で「森と川から海へとつなぐ生命のリレー」を合言葉に、作り育てる漁業を一意専心に努めていきたい」と、豊かな海づくりに向けた決意表明を行いました。また、海づくり大会推進課から、サクラマスの生態について子ども達に説明を行いました。

引き続き行った放流では、参加者が、「大きく育てよ」、「元気に帰ってきてね」とそれぞれ声をかけながら放流しました。

今回の放流を通して、参加者全員が、これからも水産資源や豊かな自然を守り育て、未来に引き継いでいく決意を新たにしました。



伏貫さんによる決意表明



サクラマスの勉強



サクラマスの稚魚の放流（1）



サクラマスの稚魚の放流（2）



参加者で記念撮影